

2016 年度 小委員会活動成果報告

(2017 年 2 月 16 日作成)

小委員会名	建築基準の適用とその実行方法のあり方検討小委員会	主 査 名：平野吉信 就任年月：2013 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築法制委員会	委員長名：杉山義孝
設 置 期 間	2013 年 4 月～2017 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>建築基準法令に関しては、この 10 数年間の性能規定化及び民間確認検査機関制度の導入等の改革にもかかわらず、その後の構造計算書偽装事件等に対応した基準・執行の厳格化の影響もあり、基準適用、特に革新的な技術的方法や既存建築物への適用の柔軟性や、基準の技術的内容の解釈の妥当性確保の方法等に関して、さまざまな議論がなされるようになってきている。その中でも、①多様な技術・ノウハウを受け止める「柔軟性」、②専門家が持つ「ノウハウ・判断力」の活用可能性、等の視点から、「建築基準とその実行方法のあり方」について、検討を進めていく必要から本小委員会が設置された。</p> <p>こうした状況に応じて、①海外の「性能規定化」「規制の民営化」等の実態把握、②関係分野（審査証明、専門家への委任と責任保険、不服審査等）の事例収集、③他分野（車両安全、土木系事業、医薬品、等）の状況・知見等の事例収集、等を、小委員会メンバーが分担して事例発表、WS形式で討論を行い、「基準」の設定・運用（解釈を含む）のしかたや、関係者間の役割や責任の分担などについて、可能な「あり方」を構想する。また関連システムとの関係などから、実現可能性を検討する。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	<p>委員公募の有無：無</p> <p>主査：平野吉信（広島大学）、幹事：五條渉（建築研究所）、杉山義孝（日本建築設備・昇降機センター）、竹市尚広（竹中工務店）、委員：内田広也（日本ERI）、岡房信（岡計画事務所）、小川富由（住宅保証機構株）、金箱温春（金箱構造設計事務所）、神田順（日本大学）、小林恭一（危険物保安技術協会）、辻本誠（東京理科大学）、土屋伸一（明野設備研究所）、西野加奈子（建築・住宅国際機構）、日置雅晴（神楽坂キーストン法律事務所）、松本光平（明海大学名誉教授）</p>	
設置 WG		
2016 年度予算	100,000 円	ホームページ公開の有無：有 アドレス： http://www.aj.or.jp/gakujutsushinko/g-000/g010-12.html

項 目	自己評価
委員会開催数	7 回
刊行物	
講習会	
催し物	
大会研究集会	研究協議会「性能指向概念と専門家の役割を活用した建築規制のあり方の可能性と課題」（8 月 26 日） 参加者 52 名
対外的意見表明等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	<p>大会研究協議会では、前回協議会以降の検討経緯を踏まえ、検討結果の報告を行った。結果として、法的建築規制と少数ではあるもののそれから逃れようとする当事者の存在が無視できない現況に鑑み、原放棄姿勢の体制を即時に代替できる柔軟な基準と民間専門家の役割を活かした適合性管理のしくみを提言するには至らなかったが、特に建築主の責任の自覚と専門家が複合した適合性管理のしくみについて、法規制と同等の効果があることが立証され、法上の手続きに乗せることが可能であるならば、これらのしくみを将来的に活用していける可能性を確認することができたといえる。</p> <p>以上も踏まえ、4 年間の活動の総まとめとして、小委員会活動報告書をまとめてホームページから公開する予定である。</p>
委員会活動の問題点・課題	